

4月から、 市の組織を一部 変更しました。

市は、行政サービスの向上のために組織を見直し、4月1日から一部を変更しました。そのうち、今年度から新たに設置した5つの組織について、その概要を紹介します。

健康増進センター、水田農業振興室、公害対策室、ねんりんピック推進室、地籍調査推進室を新たに設置

健康増進センター

スピカ分庁舎3階 TEL22-0506

市民の皆さんの健康づくりをより一層効率良く支援・推進し、疾病の予防、健康の維持・増進を一体的に進めるため、下館駅前スピカ分庁舎3階に健康増進センターを設置しました。この健康増進センターには、市民の健康づくりを推進する健康増進課、庶務を担当する保健推進課、健康維持増進施設であるあけの元気館及び協和ふれあいセンターを管理運営する保健施設課を配置しました。特に、健康増進課には、保健師・栄養士・歯科衛生士・看護師などの職員を置き、市民の健康づくりを強力に支援・推進するため、連携強化を図りました。



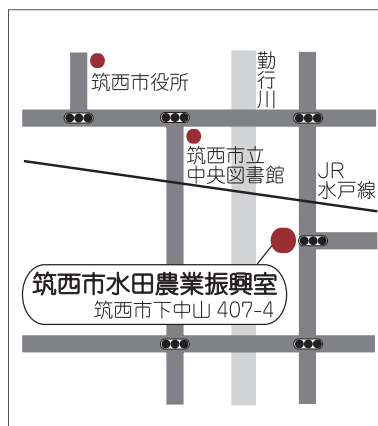
※各保健センターの職員は、健康増進センターから派遣します。そのため、各保健センターの開設時間は、午前9時30分～午後4時30分に変更になりました。

※スピカ分庁舎内の健康増進課でも、母子手帳の交付や健康相談などを実施しますので、どうぞご利用ください。

水田農業振興室

旧 JA 北つくば養蚕支店内 TEL23-1800

市とJA・集荷業者が一体となって米の需給調整をスムーズに進めるため、旧JA 北つくば養蚕支店内に水田農業振興室を設置しました。このワンフロア化によって、連携と機能をより強化し、生産者団体などが主体となって行う新たな需給調整システムへの円滑な移行を推進します。



ねんりんピック推進室

本庁舎1階 TEL 内線 262



今年11月に茨城県で開催される、高齢者を中心とした全国健康福祉祭『ねんりんピック茨城2007』を推進するため、高齢福祉課にねんりんピック推進室を設置しました。筑西市で開催するテニス交流大会の実施とその成功に向けて、実行委員会事務局の運営や関係各団体との連絡調整、大会のPR活動などを行います。

公害対策室

本庁舎3階 TEL 内線 427・428

市民の健康で快適な生活環境を守るため、生活環境課に公害対策室を設置しました。大気汚染や水質汚濁、騒音、振動などの公害の防止に取り組みます。

地籍調査推進室

スピカ分庁舎4階 TEL20-1172

国土調査の一つである、地籍調査を進めるため、ふるさと整備課に地籍調査推進室を設置しました。地籍調査とは、一筆ごとの土地の所有者、地番、地目を調査し、境界の位置を定め、面積を測量するものです。

『人と自然 安心して暮らせる 共生文化都市』を目指して

『筑西市総合計画』を策定しました

■総合計画は、今後10年間のまちづくりの指針となるものです

市では、今後、10年間のまちづくりの方向を定める総合計画を、市民の参画をいただきながら、策定しました。この計画は、長期的な展望に立つて筑西市の目指すべき将来像を描くとともに、その実現に向けて、市民と行政とがともに考え実践していくための指針となるものです。

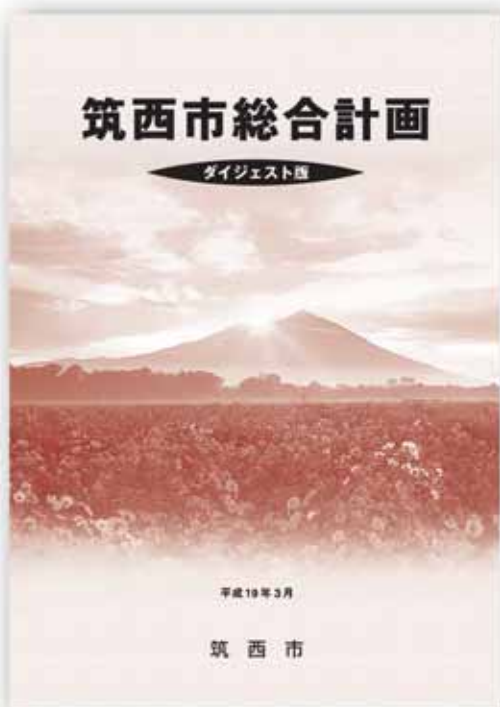
総合計画は、10年間の長期計画である『基本構想』、5年間の中期計画である『基本計画』と、毎年度別途作成する『実施計画』から構成さ

れています。筑西市は、『人と自然 安心して暮らせる 共生文化都市』を将来都市像に掲げ、この計画に基づいて、市民との連携と協働によるまちづくりを進めていきます。

■ダイジェスト版を配布します

市民のみなさんには、この計画を概要としてまとめた『筑西市総合計画ダイジェスト版』を、5月中旬に配布させていただきます。また、市のホームページにも計画全文を掲載しますので、ご覧ください。

▼筑西市総合計画についての問い合わせは、市企画課 内線484へ。



▲市民のみなさんに配布する『筑西市総合計画ダイジェスト版』

連携と協働のまちづくりへ

■まちづくりフォーラムを開催

3月31日、市立中央図書館で、『筑西市まちづくりフォーラム』を開催しました。これは、市民に、筑西市のまちづくりに対する理解を深めていただくよう開催したものです。

フォーラムでは、このほど策定した『筑西市総合計画』の概要を紹介。続いて、増田勝さん（東京家政学院大学大学院非常勤講師）をコーディネーターに、中川郁夫さん（筑西市自治会連合会長）、小松崎登美子さん（下館地域在宅介護を支える会会長）、阿久津祐子さん（宮の杜里山づくりの会）、横島佐代子さん（生涯学習ボランティアサークルどんぐり会）、市企画課・上野課長がパネルとなって、パネルディスカッションを行いました。市民と行政が相互の理解と信頼のもと、協力してまちづくりを進めていくための様々な意見や提案が出され、会場に集まった市民は、熱心に耳を傾けていました。



子どもたちを守るために

■常陽銀行下館支店から

防犯ブザーが寄付されました

4月9日、常陽銀行下館支店（押田繁支店長）から市へ、防犯ブザー1,100個が贈呈されました。この防犯ブザーは、市内の新入学児童へ配られ、登下校時の子どもたちの安全を守っています。



▲富山市長に目録が手渡されました。

宝くじ収益を地域に

■一本松自治会に山車などを整備

平成18年度自治宝くじ助成事業の援助を受け、一本松自治会が集落センターの空調設備や山車などを整備しました。これは、自治総合センターが地域コミュニティの健全な発展と宝くじの普及広報のために、宝くじの受託事業収入を財源として助成しているものです。